

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		ぱすてるびいす			公表日	2025年2月12日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1		配置基準は満たしているが、トラブル等で個別対応が必要になると他児に手が回らない →まず支援時間に1人以上手が取られる連絡係の対応をICT化して、時間に縛られず保護者と密に情報共有できるように運用していく
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0		壁に貼り出されたスケジュールが形骸化している。児童の目線が行かないし、内容も修正が必要 →従来の全体スケジュールでなく、個別のタイムスケジュールを作成し本人の特性に合わせた支援を丁寧に実施・検証・定着していく
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	指導訓練スペースに個室が設けられている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1		振り返りをする時間がない →会議参加できない職員が目を通しやすいよう議事録をグループウェアで共有する
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1		会議参加できない職員からの意見の吸い上げ方法は？ →いつどんなタイミングでも、不明点があれば質問、意見をもらいたい旨、改めて声がけ
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2		第三者評価未実施(法人で検討段階)
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	資質向上のため動画研修を実施	・法人内研修の年間スケジュールを出してほしい →法人・各委員会へ依頼 ・研修機会は多いがアウトプットやフィードバックにつなげていない →研修受講者が講師として行う勉強会を新たに実施する
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	インフォーマルアセスメントとしてはサポートブックを活用している	・フォーマルアセスメント(発達検査など)は全員が受けているわけではない(保護者の意向等による) ・職員の中でも、専門用語の理解や児童のアセスメントに対する共通理解が不足している →ガイドラインに記述されているようなことはベースラインとして、全体の学習レベルを底上げする
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	支援前のミーティングでその日の活動の打ち合わせなどを行う	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	支援終了後でなく次の日の朝礼、支援前のミーティングで周知・共有している	振り返りが十分でない(ヒヤリハットの共有や対策について逐次会議を持つことができていない) →振り返りは以前から即日ではなく次の支援前のミーティングという形で継続されている →基本は支援記録の読み込み、また、記録の書き方についてもより具体的な指導が必要
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		個別支援計画の支援目標、支援内容について振り返りできると良い →モニタリング会議、計画検討会議で深めていく
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0		

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	2	(中高生対象の事業所のため非該当)	(中高生対象の事業所のため非該当)
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2		今年度は発達障害者支援センターウィッシュの動画研修を受講。今後も継続予定
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	0	児童クラブとの交流機会を毎年設けている (今年はマイコプラズマ流行のため実施できず)	代替機会を設けることはできないか →代替機会、あるいは、より開かれた施設を目指して新たなコネクションを模索する必要がある
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	3	4		現時点、自立支援協議会等への参加なし →法人としての地域福祉計画への参画等あり
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	送迎時や連絡時（電話、メール）にお話をしている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	親子活動もその一環と捉えている	支援プログラムをベースに、家族支援の在り方、ペアレント・トレーニングの取り組み方など、職員が足並みを揃えて学習し行動に落とし込んでいく
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	利用契約の際、他は変更にあたって面談等で随時伝えている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	面談時に（個別で適宜）	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	40	父母会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	0	・親子活動で火おこし体験等を行い、保護者同士交流が深められた ・支援学級の保護者さんはこのような機会が少ないと思う	親子活動があったが、保護者会、きょうだいの交流はできていない →継続実施。保護者間、きょうだい間での交流もできるよう工夫していく
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	・事業所内での周知 ・機関誌で公表している	
	42	定期的な通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	児童の特性にあわせた方法でコミュニケーションをとっている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3	・現在は行っていない（以前はサマーフェスタ） ・地域ピカピカ大作戦でゴミ拾いしている	「開かれた事業運営」そのために… ・外部への情報発信（機関紙等）やボランティア・実習の受入の継続強化 ・行事に住民を呼ぶことは難しいが、地域の行事にばすてるとして参加する方向で検討する
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	面談時に、サポートブックに記入して頂いている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	現時点、該当者なし。必要があれば保護者の依頼に沿うようにしている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		安全計画の作成はしているが、支援がされているかは…不十分 →計画の充実化 ・安全点検をばすてする職員とばすてするひいす職員で相互に行うことで客観性を担保する
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		面談時にも説明するものとして、安全計画のほうにも改めて記載する。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	何かあった時は共有するようにしている	ヒヤリハットにあたる場面は多々あるが、すべてを書面に残せていない。共有不十分 →事業所リスク会議の定期開催と、議事録のグループウェアでの共有 ・「活動案」の記録を参照し、反省点を次の「留意事項」で活かす等、仕組みを明確化
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	・権利擁護会議を行っている ・いつもと違う様子があれば職員同士で情報共有ができています	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	1	(現時点、該当者なし)	(現時点、該当者なし)